

【説明内容】

1. 中央図書館の整備
2. 現在の取り組み状況
3. 今後の予定

(1) 基本設計業務

■委託先 株式会社 遠藤克彦建築研究所

■業務期間 令和6年3月21日～9月30日

■主な業務内容

① (仮称) 舞鶴市立中央図書館基本設計

基本設計図書を作成 ・ 概算工事費の検討

② 西舞鶴駅前東口駅前広場整備基本計画案の作成

③ 測量業務

※ 基本設計内容については、別途報告を予定しています。

(2) ワークショップの実施 (基本設計をテーマに3回実施)

回	日程	テーマ	参加者
1	4月27日(土) 14時～16時 総合文化会館	どんな図書館にしたいか	37名 (傍聴者:5名)
2	6月15日(土) 13時30分～15時30分 西駅交流センター	中央図書館の新たな提案に対する充足点・不足点について	39名 (傍聴者:12名)
3	8月3日(土) 13時30分～15時30分 西駅交流センター	新たな図書館の使い方・過ごし方(新たな設計案について)	38名 (傍聴者:5名)

暮らし・学び・情報をひろげる まいづるインフォメーションライブラリー

変化する情報環境に柔軟に対応し、市民のみなさと育てる、京都府北部のハブとなる中央図書館をつくります。



南東外観鳥瞰

基本計画を活かし、舞鶴モデルとなる図書館・情報拠点をつくる為の、本計画の7つのポイント

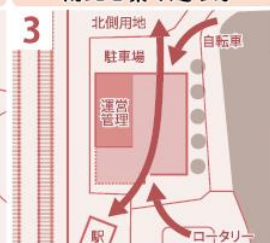
図書・公共機能を強化する
北部地域のハブ



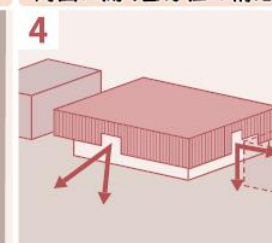
市民活躍型の
課題解決図書館



まちづくりに寄与する
南北を繋ぐ建ち方



舞鶴の風景をつくる
周囲に開く全方位の構え



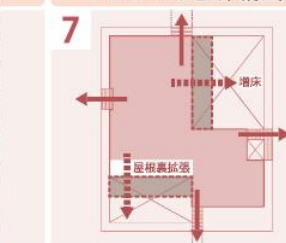
自然環境を考慮した
持続可能な施設計画



知の集積を活かす
充実した蔵書計画



拡張性のある
シンプルな全体構成



※本画像は提案イメージ図であり、建物の詳細は、今後、市民の意見を伺いながら決定いたします。

※提供：株式会社 遠藤克彦建築研究所

(2) ワークショップの実施 (主な意見)

【第1回 どんな図書館にしたいか (設計提案に対する気づき)】

<充足点の気づき>

- ガラス張り
- 開放感がある
- 広々とした印象
- B M車庫
- 外装デザイン
- 市民活躍スペースがゆったり
- 明るい感じがいい
- 子どもエリアが充実している
- 居場所がいろいろありそう

<不足点の気づき>

- ガラス張り
 - ・光熱水費への影響
 - ・本の日焼け
 - ・全面ガラスでなくともよいのではないか。
 - ・定期的なメンテナンスの必要性
- 防災 (水害対策)
 - ・水没に対する不安
 - ・水害対策が大事
- 吹き抜け
 - ・ランニングコストが不安
- 遮音性
 - ・静かなスペースの確保
- 複合施設ではない



検討中 外観イメージ ※2階建て

駅から訪れる人を迎える

塔屋から漏れる光で
曇り空や夜も映える

駅前との繋がりをつくる
外部空間を広く計画

舞鶴らしさを
積みあげる外観

提供：遠藤克彦建築研究所

(2) ワークショップの実施 (主な意見)

【第2回 中央図書館の新たな提案に対する充足点・不足点について】

＜設計提案の前回からの主な修正点＞

- (1) 浸水対策 → 浸水深さへのさらなる嵩上げの検討
- (2) 外構計画 → 西駅とのつながりをつくる広場的空間の検討
建物軒下の余白を計画し、賑わいをつくる。
- (3) 外部 → 舞鶴らしさの検討、外壁面積を増加し、環境性能を高める。
- (4) 内部 → 居場所の自由度を高め、吹き抜けを小さくし分散、設備負荷を軽減。

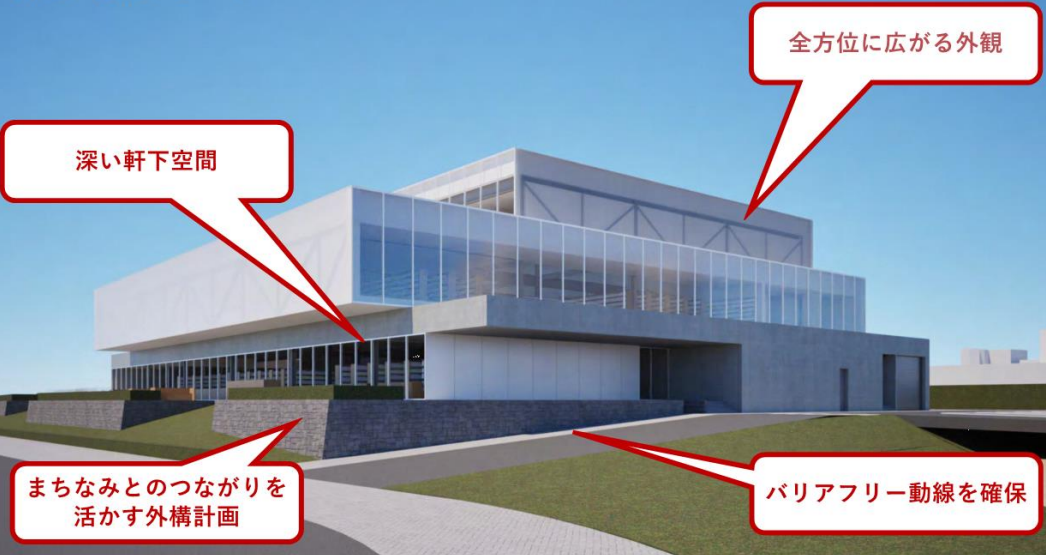
＜充足点に関する意見＞

- バリアフリーに配慮し、書架の間が十分確保されている。
- 子どもエリアが素晴らしい。
- 舞鶴の歴史に配慮した外観イメージが良い。
- 1階は交流と賑わい、2階は深く調べる際にたくさんの居場所がある専門エリアというゾーン分けが素晴らしい。

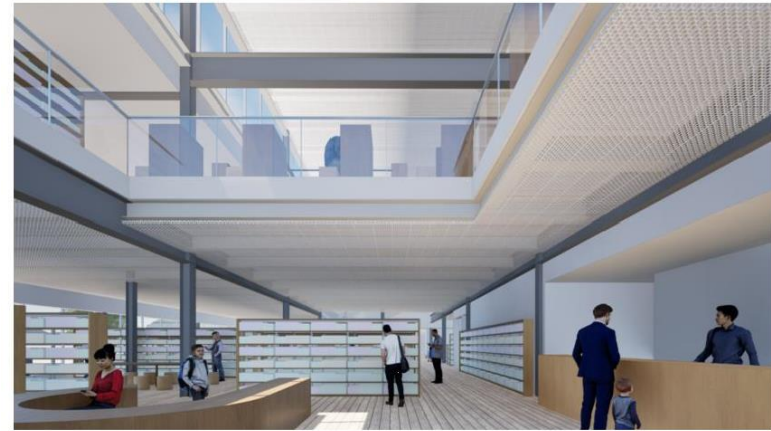
＜不足点に関する意見＞

- 緑化やランドスケープもしっかり計画してほしい。
- お年寄りにも配慮してほしい。
- 映画上映や化学実験などいろんなことができる設備があったら良い。
- 大人と学生、子どもが交流できる場所にしてほしい。
- カウンター業務など図書館職員の負担にならない配置にしてほしい。

外観 北東イメージ



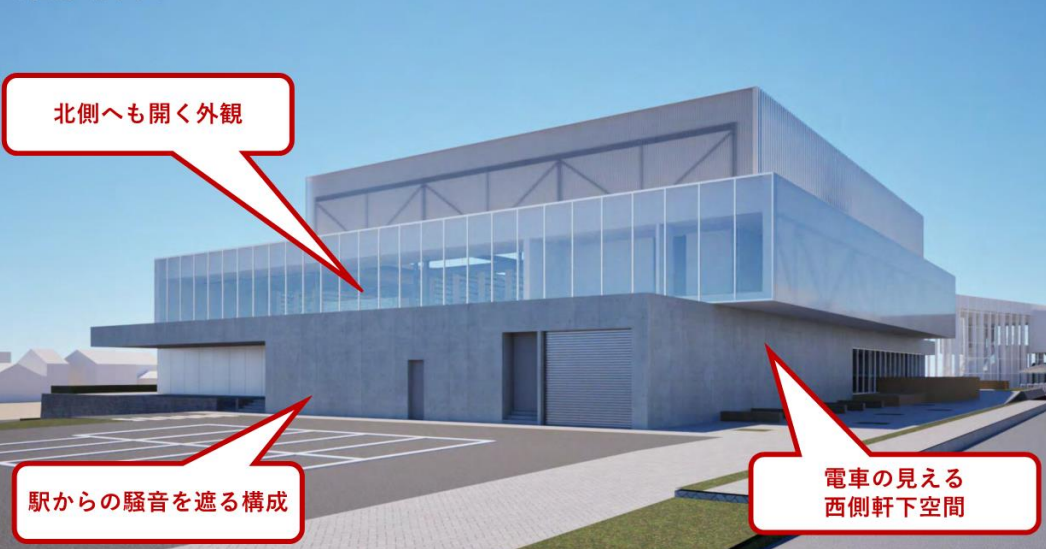
■北エントランス付近（1F）



■南エントランス付近（1F）



外観 北西イメージ



提供：遠藤克彦建築研究所

(2) ワークショップの実施 (主な意見)

【第3回 新たな図書館の使い方・過ごし方】

- ・ 子ども広場でゆっくりした後に使える水回りの設備や場所がほしい。
- ・ 2階のラウンジスペースを静寂室から離してどうか。
- ・ 舞鶴のアーティストの発表の場となるスペースがほしい。
- ・ ゆっくり話ができる場所が点在しているようで良い
- ・ 介助犬を連れたときに犬が休めるスペースがあれば助かる。
- ・ シャトルバスによる送迎時に入口近くで人を降ろせるスペースがあるか。
- ・ 大きな掲示板を使って、小中学生の調べ学習の支援ができないか。
- ・ 駅から図書館までの通路に屋根があればうれしい。
- ・ 駐車場を広くとってほしい。
- ・ 市民が図書館友の会を組織して、交流室を積極的に活用したい。



2. 現在の取り組み状況

(1) 既存3分館との連携

■東西図書館から分館への本の巡回

- ・加佐分館、南分館では試行実施しており、今後、中分館でも開始予定。

■分館とのネットワーク構築準備

- ・10月から2ヶ月ごとに各分館の本のデータ化用選別作業を実施。
- ・年度内に全分館の本を選別し、バーコード貼り付け作業を実施予定。

■東・西図書館の本を分館で返却できるシステムづくり

- ・まずは、東西図書館の本を3分館での受け取りを実施。

■分館での司書による読み聞かせの実施

- ・12月から実施予定（まずは地元の親子を対象に開始）

(2) 新たな分館

■候補施設 ○東地区・・・商工観光センター、まなびあむ ○大浦地区・・・大浦会館

■現状の取り組み

- 現地確認や関係機関等との協議
- 候補施設の配置図等をもとに利用可能なスペースや書架や居場所スペースの検証・検討

■今後の取り組み

- 年度内の決定に向けてイメージを示したうえでワークショップ等を実施予定。

2. 現在の取り組み状況

(3) 各団体等との連携による主な館内展示等

- 3/26～5/31 ポーツマス市からの寄贈図書の展示（東西図書館）【みなと振興・国際交流課】
- 8/1～6 海の科学教室と海図展（東西図書館）【第八管区海上保安本部】
- 8/25 京都まなびフェスタ2024パブリックビューイング（東図書館）【産業活力課】
- 9/1～30 認知症月間の展示（東西図書館）【高齢者支援課】

- 学校等との連携（児童がいつでも書籍に触れられる読書環境の整備）
 - 【R5～】電子図書館の導入（全児童生徒及び教職員に I D 等を付与）
 - 【R5～】放課後児童クラブでの読み聞かせ
 - （継続）ブックトークの実施（司書が学校へ出向き本を紹介）
 - （継続）貸出文庫（図書館から遠距離にある小学校等に本を配達）
 - （継続）各学校・クラスへの団体貸し出し



(4) 広報まいづる（思い描く図書館づくり）連載記事について

- 目的：図書館再編の取り組みや現在の状況などについて市民に分かりやすく P R するため
- 記事項目
 - 8月号：図書館基本計画をなぜ作ったのか？
 - 9月号：図書館基本計画における目指す図書館の姿と今後の取り組みについて
 - 10月号：中央図書館の整備
 - 11月号：魅力的な中央図書館を目指して

3. 今後の予定

(1) 今後の報告予定

- ・中央図書館の基本設計内容
- ・ワークショップの実施

(2) 今後予定している連携事業

【新規】社会福祉協議会（11月 ボランティアセンター P R 展示）

【新規】市外図書館との連携展示

(継続)人権週間連携展示

(継続)ゲートキーパー講座

< 図書館再編にかかる今後のスケジュール（案） >

令和6年度	基本設計・ワークショップの開催
令和7年度	実施設計・ワークショップの開催
令和8年度	整備工事開始（～令和9年度）
令和9年度末	中央図書館開館（分館ネットワーク構築・サービス開始）
令和10年度	東西図書館の廃止・除却（～令和11年度）